

海外運用の先駆者達 ～ 20 世紀に海外でアマチュア無線を運用した日本人達～  
その 100 FB ニュース第 100 号を祝って 1995 年 (4)  
「あの人は今 (第 25 回)」 JH1HRJ 大家万明氏

JA3AER 荒川泰蔵

■ FB ニュース第 100 号を祝って

FB ニュース第 100 号おめでとうございます。一概に第 100 号と言っても 2013 年 4 月号からの月刊で、8 年 3 ケ月の長きになり、2017 年 10 月号からはそれまで追加で公開していた記事をまとめ、毎月後半分を 15 日号として追加された為、実質月 2 回の公開で、通算号数は更に多くなっています。またバックナンバーを見ると一目瞭然ですが、カテゴリーの拡大や英語版の追加などで、記事の件数の増加や内容の充実を見ると、編集部の努力の跡がうかがえます。創刊号に「創刊のご挨拶」として決意を述べられた JS3CTQ 稲葉浩之編集長は、初心を忘れず今も編集長を続けておられるのに敬意を表すると共に、これからも健康に留意して、スタッフと共に FB ニュースを継続し、更に充実して下さることを期待しています。

さて、この「海外運用の先駆者達」の連載記事も創刊号から掲載頂いて、今回で (その 100) に達しました。今回は 1995 年の第 4 回目で、オセアニアの第 1 回目 (CQ ゾーン 27～30) の紹介です。尚、今月の「あの人は今 (第 25 回)」は、JH1HRJ 大家万明氏の紹介です。

大家氏は JANET クラブのネット運用時にウェブ会議用の Zoom を立ち上げて、ネットコントローラー (NC) の W6OPQ 丸英之氏のサポートをされています。その中で、この FB ニュースをご覧の JANET クラブのメンバーから、当時アンケートやレポートを出さなかったが、自分の海外運用の経験や現状を、或いは、その当時海外で仕事をしていたのにアマチュア無線を運用する機会がなかった残念な思いなどを含め、この 100 号記念号に寄稿してみようとの話が持ち上がり、大家氏がそれをまとめて「JANET クラブメンバーから FB ニュース 100 号に寄せて」と題した記事を別途投稿され、今号に掲載されていますので合わせてご覧ください (写真 1)。

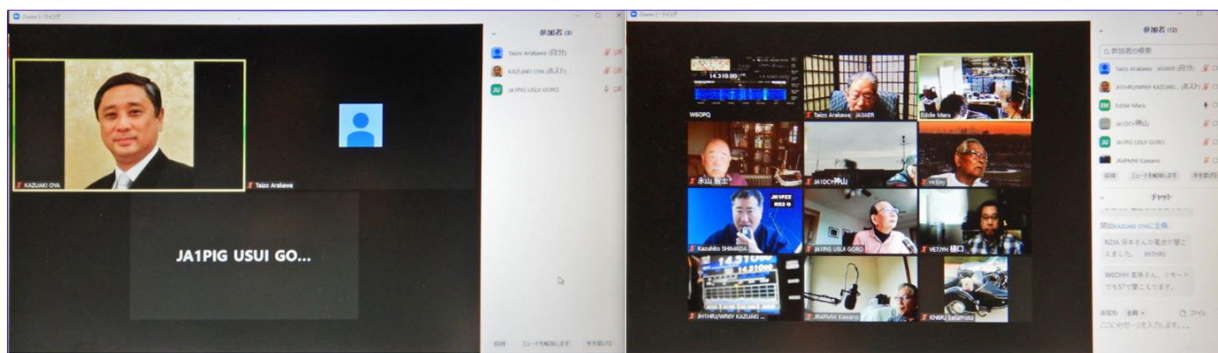


写真 1. JANET クラブのネットと並行して運営されている JANET の Zoom ミーティング。

■ 1995 年（北マリアナ諸島 AH0Q, AH0AV）

JF3EIG 岩田大史氏は、サイパン島から AH0Q で、4 回目の運用をしたと、アンケートを寄せてくれた（写真 2 及び 3）。「過去 3 回サイパン島から運用しましたが、1995 年は JIDX コンテストに、J11NJC, JF2MBF, JS6BLS と共にマルチ OP で参加しました。現在では現地人による VE 試験が年 4 回ほど行なわれており、常駐局も 30 局ぐらいいるのですが、常駐局による SSB/FM 以外のアクティビティは極端に低いです。（1995 年 6 月記）」

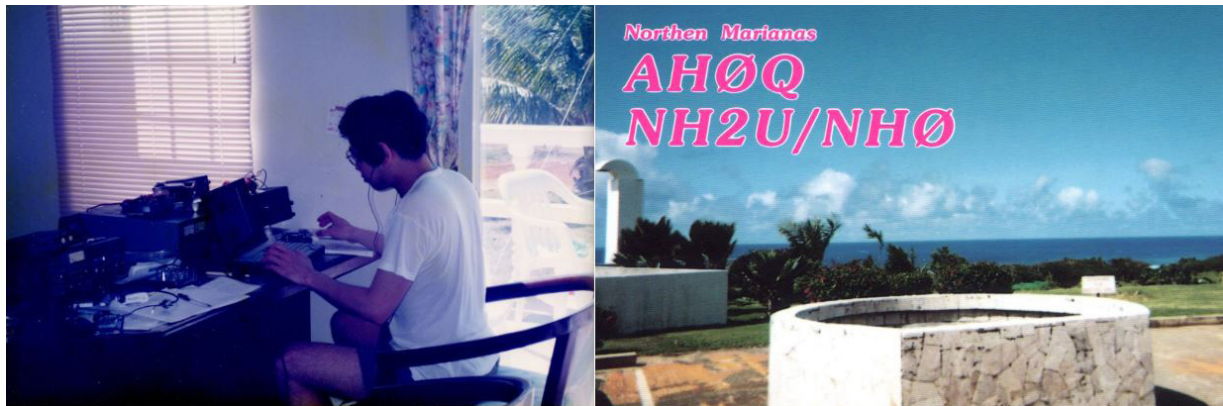


写真 2. (左)AH0Q を運用する岩田大史氏と、(右)その QSL カード。(1994 年運用分)

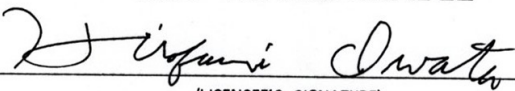
Special Conditions	
Fixed Station Operation Location	
THOMPSONS PLATEAU 1 DENNI	
SAIPAN	MP
Effective Date	Expiration Date
11/17/92	11/17/02
Operator Privileges	Station Privileges
EXTRA	PRIMARY
THIS LICENSE SUBJECT TO CONDITIONS OF GRANT ON THE REVERSE SIDE	
<b>NOT TRANSFERABLE</b>	
 _____ (LICENSEE'S SIGNATURE)	
FCC FORM 660 JUNE 1991	

写真 3. AH0Q 岩田大史氏の免許状。

JH6RTO 福島誠治氏は、サイパン島から AH0AV のコールサインで運用したと、アンケートを寄せてくれた(写真4)。「福岡のパシフィック・アイランド・ラジオ・クラブと、浜松ノビスクラブ合同で、総勢 11 名(実際の運用は 10 名、他 1 名も有資格者)で、現地集合・解散で、無線、観光、ダイビングを楽しみました。OP は、KH0R(JE6DND), KH0CS(JR6OCL), KH0U(JA1QNV), KH0S(JA1OGX), KH2GR/KH0(JF6BCC), AH0AV(JH6RTO), WR1J/WHO(JR2BEF), AA5YM/AH0(JH2MRA), AC6HC/AH0(JO1IAF) でした。全体としての運用は、80 ~ 10m(WARC を含む)とサテライトでした。リピーターは観光とダイビングに精を出していましたが、熱心な OP に支えられ、合計 4,000 コンタクト前後だと思います。HF のアンテナは総べて DP か Zepp。リグは TS-50x2, DX-70, IC-706 と、各社の展示会のようにもありました。個人的には WW Ph の翌週ですから、WARC、特に 10MHz で、出来るだけ W, EU をピックアップするようにしました。(1995 年 11 月記)」

 <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;"><b>V63GY AH0AV</b></p> <p style="font-size: 0.8em;">Barracudas</p>	TX TNX FB QSO OTH <input type="checkbox"/> V63GY - FSM <input type="checkbox"/> Pohnpei <input type="checkbox"/> Truk <input type="checkbox"/> Yap <input type="checkbox"/> Kosrae	(Input) W) ANT PSE QSL via JH6RTO AH0AV <input type="checkbox"/> N. Mariana <input type="checkbox"/> Guam <input type="checkbox"/> Saelland <input type="checkbox"/> EU-029	Confirming QSO with Date UTC MHz 2-Way RST
	OP SEIJI FUKUSHIMA	Sample	Sample

写真 4. AH0AV 福島誠治氏の QSL カード表裏。

#### ■ 1995 年 ( Guam AH0AV/KH2 )

JH6RTO 福島誠治氏は、グアムから AH0AV/KH2 で運用したと、アンケートを寄せてくれた。「NH2L (JA1BRM) 山下 OM, KB1AGK(JA6PJS) 田川 OM らに同伴させて頂きました。やはり昼間はダイビングでしたが、JIDX コンテストのおかげで何とか 340 局くらい QSO できました。(1995 年 8 月記)」

#### ■ 1995 年 ( ミクロネシア連邦 V63GY )

JH6RTO 福島誠治氏は、ミクロネシア連邦のヤップ島から V63GY で運用したと、アンケートを寄せてくれた(写真5)。「JA6VZB/V63BM 森山 OM に同伴させて頂きました。現地には 2 日間と非常に短期であったこと、昼間はダイビングで無線をさぼった為、僅か 140 局に留まりました。2 人分、合わせて使用した機材は、TS-50、DX-70、14MHz ループ、18MHz Zepp のみです。このところ 18MHz がかなり調子いいです。(1995 年 8 月記)」

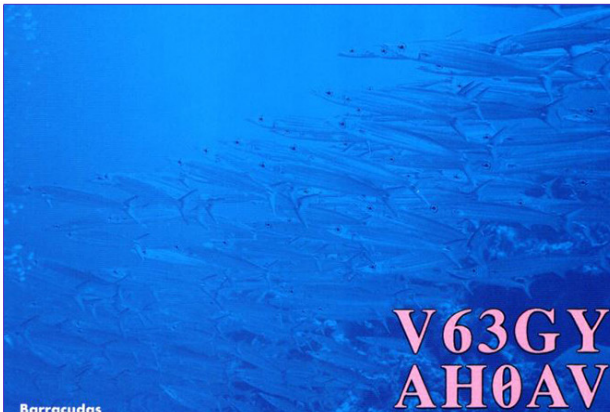
 <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;"><b>V63GY AH0AV</b></p> <p style="font-size: 0.8em;">Barracudas</p>	TX TNX FB QSO OTH <input type="checkbox"/> V63GY - FSM <input type="checkbox"/> Pohnpei <input type="checkbox"/> Truk <input checked="" type="checkbox"/> Yap <input type="checkbox"/> Kosrae	(Input) W) ANT PSE QSL via JH6RTO AH0AV <input type="checkbox"/> N. Mariana <input type="checkbox"/> Guam <input type="checkbox"/> Saelland <input type="checkbox"/> EU-029	Confirming QSO with Date UTC MHz 2-Way RST
	OP SEIJI FUKUSHIMA	Sample	Sample

写真 5. V63GY 福島誠治氏の QSL カード表裏。

■ 1995 年 (東マレーシア 9M8HN)

JH4NPP 西田英子氏は、東マレーシアのサラワク州クチンで CW の試験を受け 9M8HN の免許を得、クチンのクラブ局 9M8RC のシャックを借りて運用、All Band/Mode で、DX 1,000 局と QSO したと、CQ ham radio 編集部を通じてアンケートを寄せてくれた (写真 6)。「Kuching Amateur Radio Club 9M8RC のリグ TS-140S に、14/21/28MHz は Hi-Gain の 4 エレ八木、7MHz はループアンテナで運用しました。彼等は日本の免許を認めず、13WPM の CW の試験を受けるよう要求したので、私は 13WPM のモールスコードのテストを受けました。(1995 年 8 月記)」

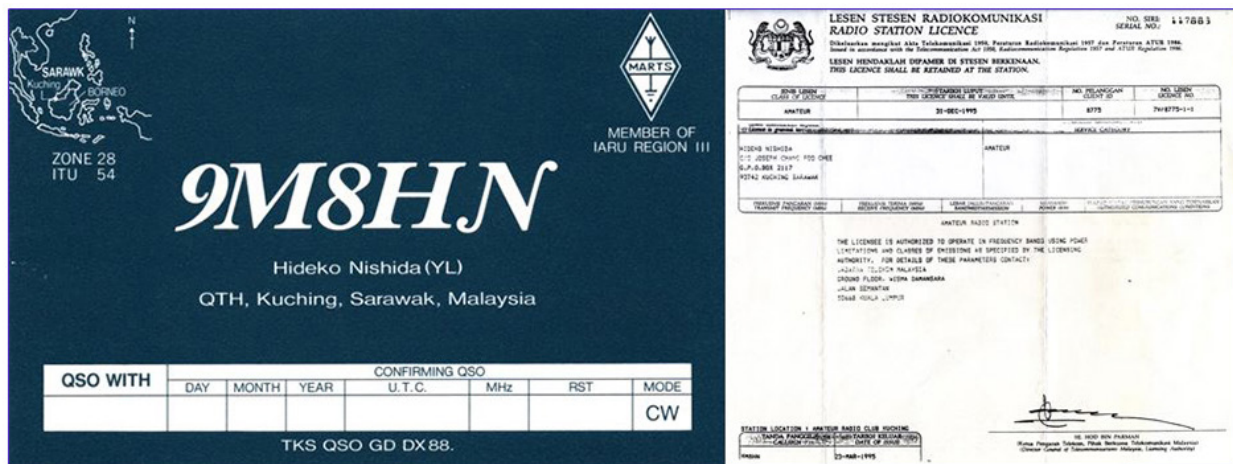


写真 6. (左)9M8HN 西田英子氏の QSL カード。(右)9M8HN 西田英子氏の免許状。

## ■ 1995 年 (クリスマス島 VK9XH)

JA1CMD 宮盛和氏は、オーストラリアで VK9XH の免許を得て、クリスマス島から運用したとアンケートを寄せてくれた(写真7及び8)。「延び延びにしていた VK9X での運用を6月23-26日(1995年)に行いました。場所は唯一のリゾートホテル "CHRISTMAS ISLAND RESORT & CASINO"。95%は週末のトバクツアーの人達。島には JA のバックツアーの姿はなく静かで FB。但し、スキューバダイビング、クラブワッチング(世界一カニの種類と数が多い、120million)、バードワッチング位でしょうか。運用は上記のホテル、充分に事前の打合せと承認を得てから上陸(チャータ機のみあり)したにも拘わらず、CASINO のマネジャーは "No Radiol!!"。スツタモンダの挙げ句、何とか OK を取り、バケーション 1/2、運用 1/2 でエンジョイしました。あまりこの場所は、忍耐力、交渉力、英会話力、胆力? がない人にはお薦めできないでしょう。殆ど JA との QSO でしたが、久々に On Air しリフレッシュしました。(1995年7月記)」

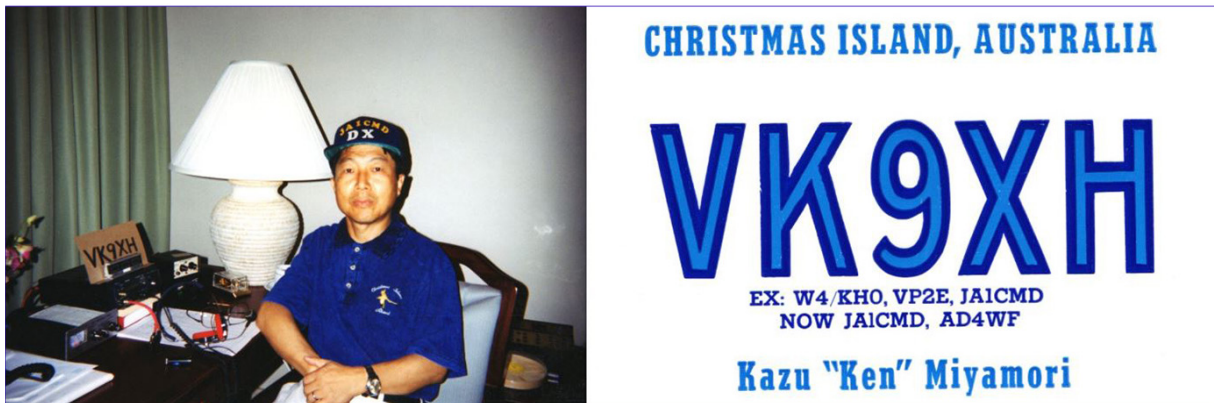


写真7。(左)VK9XHを運用する宮盛和氏と、(右)そのQSLカード。

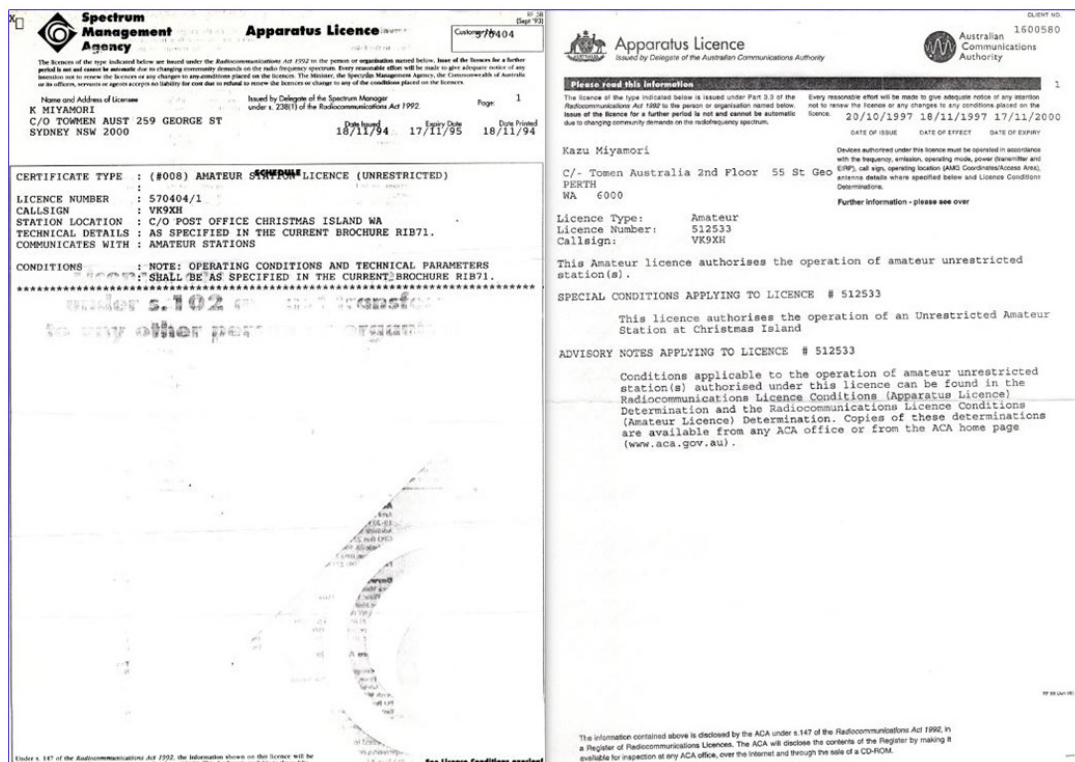


写真8。(左)VK9XH 宮盛和氏の1994年の1年間の免許状と、(右)1997年の3年間の免許状。

## ■ 1995 年 (オーストラリア VK9NH/4)

7K3UZY(ex. JA1EYH) 山下康治氏は、オーストラリアのブリスベンから VK9NH/4 で QRV したと、アンケートを寄せてくれた。「レンタルシャックで運用(オーナーは VK4HF)。リグは TS-850S + Amp 400W、アンテナは 3.5-7MHz 用 Inverted-V、14MHz 用 4ele 20mH、21MHz 用 5ele 20mH、28MHz 用 6ele 20mH。RTTY TNC232 + PC-9801L + ソフト CRTX(持参)。他に、1.8MHz 用のフルサイズ・ダイポール有り。50MHz 用八木、144MHz 用八木、430MHz 用八木があった。QSO は約 400 局。WARC 用アンテナの新設を希望してきました。またサテライト用のアンテナも同様に希望しました。(1995年7月記)」

## 「あの人は今(第25回)」 JH1HRJ 大家万明氏

前書きでも紹介させて頂きましたが、JANET クラブの活動にアクティブで、定期的なネットでは Zoom を並行して立ち上げてサポートしておられる JH1HRJ 大家万明氏の、米国での運用については、(その41)2016年8月号で紹介させて頂きましたが、その大家万明氏から近況をお知らせ頂きましたので紹介させて頂きます(写真9~11)。「1987年、ロスアンゼルスにある UCLA に客員研究員で滞在していた時の W6/JH1HRJ と XYL(W6/JH1GOT) の運用に関しては、JA3AER 荒川さんに FB ニュースの連載記事に取り上げて頂きました。早いものでもう 30 年以上の時間が過ぎてしまいましたが、JANET のメンバーにも加えて頂いたお陰で、最近は毎週日曜日のロールコールにも参加できています。JANET では大学の同窓生でもある W6OPQ 丸さんや NW6UP 賀川さん達とも頻繁に情報交換をしたり、N2JA 塚本さん、JA1PIG 白井さん、JA1BRK 米村さん他、JANET のオリジナルメンバーやアクティブメンバーと、オンエアやネットミーティングでもお相手を頂いて楽しんでいます。また同じ芙蓉グループの JR2PAU 永山さん、JG1GWL 杉本さん、JE1BQE 根日屋さん達とも、JANET でお会いするとは思っていなかったのが大変驚きました。米国から帰国後は、会社の業務で海外出張の機会も多く有りましたが時間的な余裕がなく、1990年に平塚市の丘の上に自宅を購入し、念願のタワーとビームを建てたため、QRV は殆どが国内からのコンテスト参加や DX QSO に費やしておりました。50歳を過ぎてから外資系に移籍するチャンスがあり、シリコンバレーを訪問することが増えて、SVJHC(Silicon Valley Japanese Ham Club) の W6DHH 高橋さんや W6ZEN ゼンさんこと山本さんにお世話になり、San Jose の皆さんとは TANTO Restaurant などで楽しい時間を過ごさせて頂きました。これを機会にそれまでサボっていた Extra Class の免許を取得し、WR6Y のコールサインを頂きました。お陰で W6NV, Oliver 氏のコンテストシャックから QRV させて貰ったり、米国やハワイへの出張や旅行での QRV を楽しんだり、海外出張の鞆にはポータブル HF トランシーバーと釣り竿アンテナがセットで入るようになりました。その後、3番目の会社に移った時に、ニュージーランドのクライストチャーチに3年間ほど毎月往復する機会があり、ZL3UGH, Geoff Hancock 氏と NZART の故 ZL2AMJ, Fred Johnson 氏にお世話になって ZL の General Class を取得し ZL3JP と ZL7J のコールを貰い、本島とチャタム諸島から QRV を楽しみました。また Fred 氏の業務を引き継いだ ZL2TAR, Doug Ingham 氏のサポートで特別に ZL7X のコールを貰い、JAOVSH, JE1SCJ, JH1TXG, JH1GNU と一緒に合計2回チャタム諸島より QRV しました。



写真9. (左) シャックにて JH1HRJ 大家万明氏と、(中央) そのアンテナ、(右) 大家万明氏の ZL7X の免許状。



写真 10. (左)NZART の ZL2TAR, Doug Ingham 氏を東京に迎えて、左から JAOVSH, JE1SCJ, ZL2TAR, JH1HRJ. (右) チャタム諸島より QRV した ZL7X の QSL カード。

他にも、マニラ在住の故 DU1HBC 壺川 OM の シャックから DX1HBC で運用したり、HL5ZEC のコールで韓国の大邱市から、BV7RC 伊藤憲蔵氏、BV7BC 高雄市電信人員工会・理事長 呉豊茂氏、BV7CW 劉國輝氏他のご支援で、BW/JH1GNU 小林秀氏と共に BW/JH1HRJ で台湾・高雄市から、大学同窓の 9M2/JE1SCJ 吉田氏のマレーシア・ペナン島のシャックから 9M4DXX を運用するなど、海外への出張や旅行の際に海外運用を楽しみました。特に大邱市では、東大留学時代から親交のあった大邱大学の HL5BBI, Kim Shinwhang 教授とゴルフに行ったり、大邱大学から名誉工学博士の称号を頂戴したりで、楽しい時間を過ごせたのも良い思い出です。これに刺激されたこともあり、母校の電気通信大学大学院の社会人博士課程通いを再開して、2016 年にやっと 10 年越しの Ph.D の学位も取得しました。全て無線のお陰と言っても過言では有りません。電通大では、昨年より同窓会の目黒会会長を務めながら、100 名以上の電通大同窓生で構成する「無線の会」のメンバーにもなっています。最近の出来事では、XYL と欧州旅行に行った際に、DL1YM 松永さんご夫妻とお会いして、ニュールンベルグ市内をご案内頂きました。先日も 14MHz でお会いしましたが、JANET の繋がりでの現地訪問の際に親切にして戴くのは本当に嬉しいです。無線をやらない XYL ですが、海外で受けたご親切は無線のメリットとして素直に喜んでくれています。XYL は最初のコールを切らしてしまい、再コールを受けましたが、いつも私よりも FB なコールサインが来るのが不思議で、今度のコールは JH1TTY という分かりやすいコールになりました。でも無線には相変わらず興味は無いようです hi。COVID19 の影響で、楽しみにしていた海外旅行などにも行けず家にいる毎日で、仕事はオンライン、無線はもっぱら FT8 や WSPR などのデジタルモードが続いています。できれば SVJHC の方々を訪問したり、もう一度ゆっくり行ってみたいヨーロッパ旅行、太平洋地域への移動運用、JANET メンバーとの飲み会 (JANNET) など、やりたいことがまだ沢山ありますので、早くコロナ禍が治まってくれるのを待つばかりです。(2021 年 4 月記) ]



写真 11. (左)2018 年、台湾・高雄市にて、左から 1 人おいて、BV7RC 伊藤憲蔵氏、JA1UMQ 吉田浩一郎氏、BW/JH1HRJ 大家万明氏、1 人おいて、BV7BC 呉豊茂氏、BV7CW 劉國輝氏、BW/JH1GNU 小林秀氏ともう 1 人の、総勢 9 人での集合写真。(右) ドイツ・ニュールンベルグにて、DL1YM 松長さんご夫妻と、JH1TTY 大家和子さん (右端)。